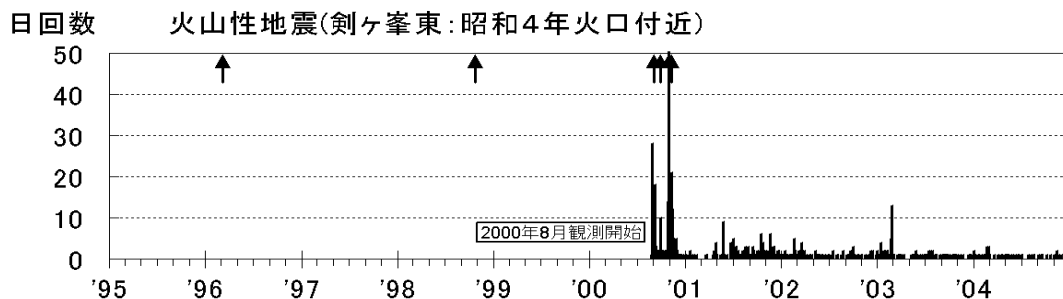
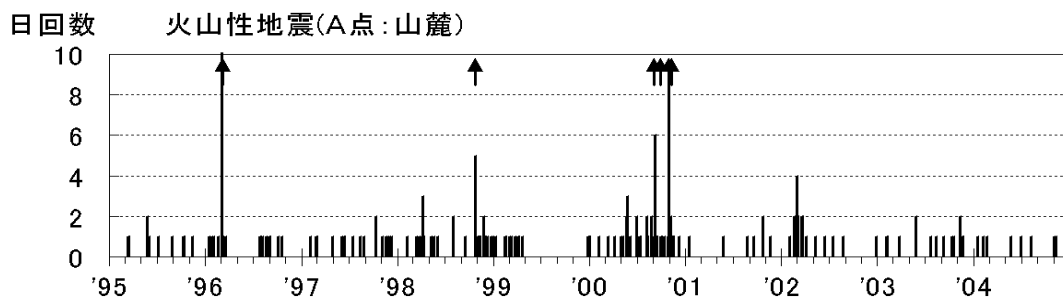
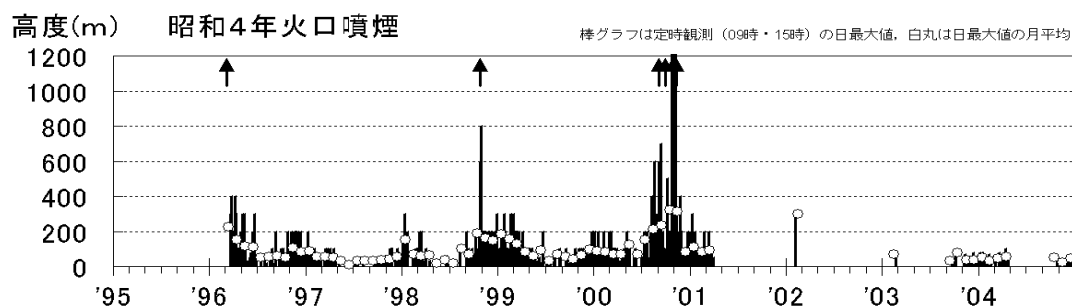
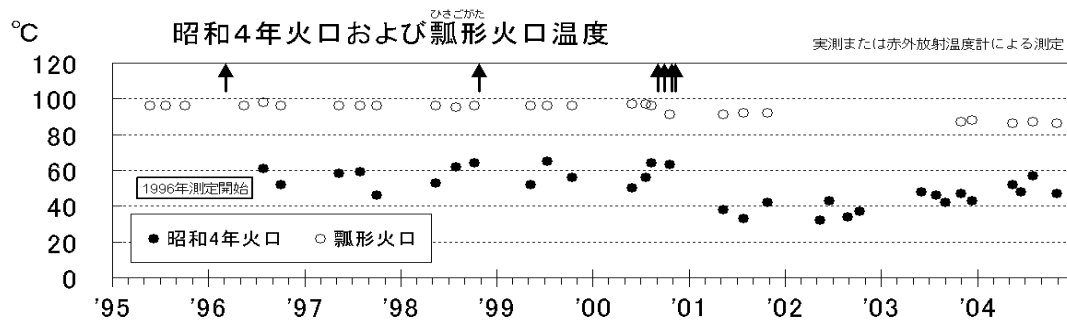


# 北海道駒ヶ岳

## 1 概況

火山活動はおおむね静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。

また、1996年から2000年までの間に小噴火が繰り返し発生しており1929年大噴火や1942年中噴火の前の状況に類似しています。しばらくは活動推移を見守る必要があります。



最近の火山活動経過図(1995年1月1日~2004年12月31日) 印は噴火

2 噴煙の状況

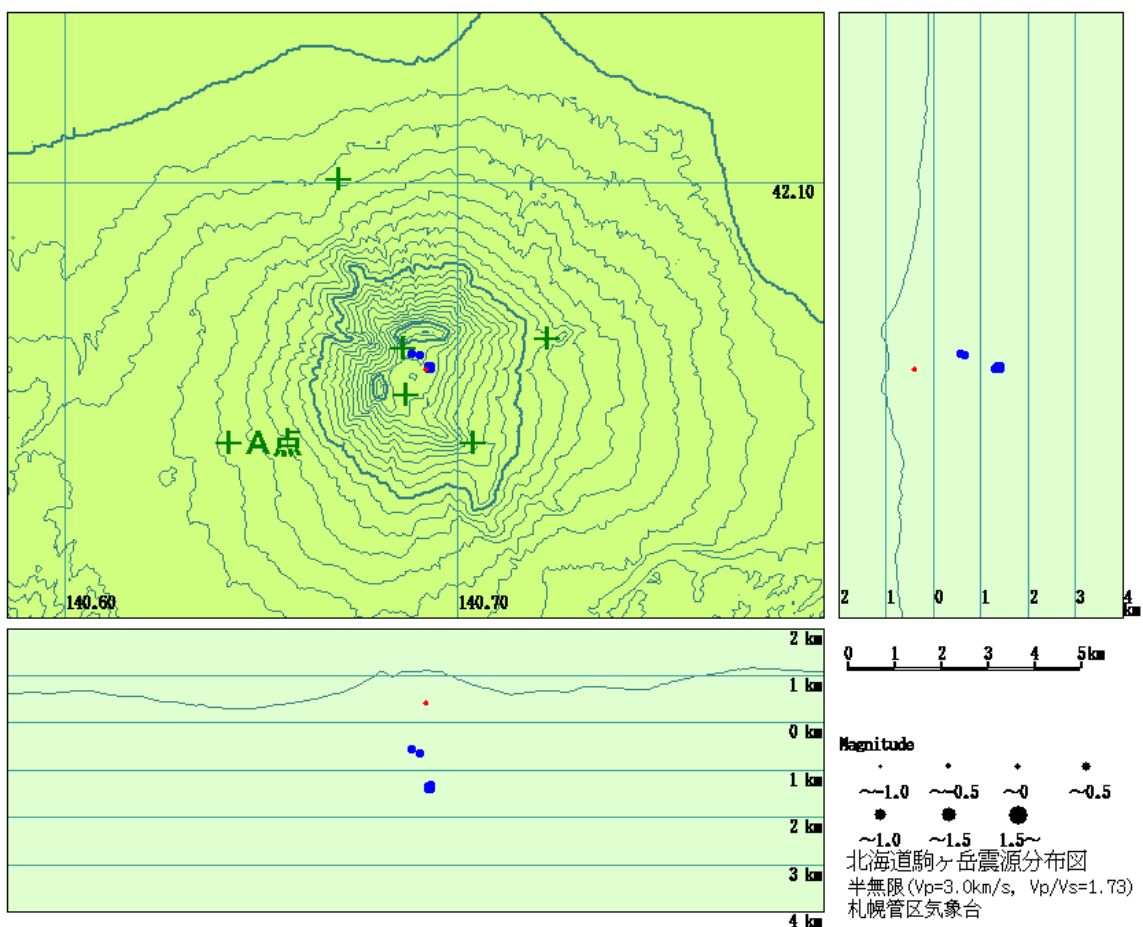
2003年9月以降、昭和4年火口からの弱い噴気がしばしば観測されていますが、今期間も一時的に観測される日がありました。

3 地震の発生状況

21日にごく微小な地震が一時的にやや増加しました。いずれの地震も振幅は小さく、山麓のA点(昭和4年火口の西南西約4km)で計数の基準に達する地震はありませんでした。震源は山頂火口原の浅部と推定されます。火山性微動は2001年1月以降観測されていません。

地震・微動の月回数(A点)

2004年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地震回数	1	2	0	0	1	1	0	1	0	0	2	0
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



北海道駒ヶ岳の震源分布図(丸印:震源 +印:地震観測点)

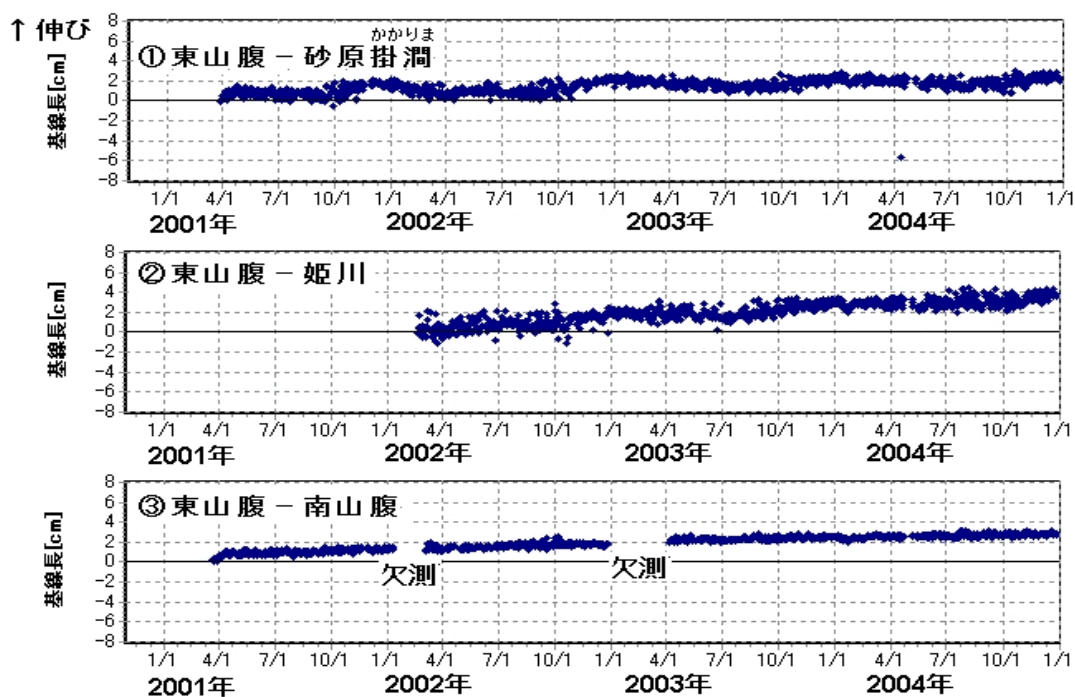
赤丸は今期間(2004年12月1日~12月31日)に求めた震源を示しています。

青丸は前期間までの11ヶ月間(2004年1月1日~11月30日)に求めた震源を示しています。

震源は山頂火口原直下の海拔付近と海拔下1~2kmに集中しています。

4 地殻変動の状況

GPS連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。



基線長変化(2001年3月23日~2004年12月31日)

